

会長 **ベルトホルト・フーパー**  
Berthold Huber

ベルトホルト・フーパーは1950年2月15日にドイツのウルム/ドナウに生まれ、1971年からIGメタルの組合員。工具修理工になるための実習を経て、ウルムのケスボーラー（現エボバス）に採用された。1978年、ケスボーラー従業員代表委員会・一般従業員代表委員会の委員長に就任。1990年にIGメタルの東ドイツ担当専任役員、1991年に会長室事務局長になった。

1998年にはバーデン・ビュルテンベルク地域役員となり、その後2003年にIGメタル副会長に就任した。2007年からIGメタル会長を務めており、同年IMF会長に就任。



書記長 **ユルキ・ライナ**  
Jyrki Raina

ユルキ・ライナは、2009年5月の第32回IMF世界大会で書記長に選出された。1960年にヘルシンキで生まれ、1985年にフィンランド化学労働組合の弁護士および団体交渉責任者として組合関連活動を開始した。6年後、ブリュッセルに移ってICEF（国際化学エネルギー一般労連）で調査活動に従事したのち、エネルギー産業で政策立案とネットワーク構築を担当。2000年にICEM（国際化学エネルギー鉱山一般労連）で組織化部長に就任し、戦略の立案にあたって書記長を補佐した。2001年から2003年まで、ヘルシンキでフィンランド産業労働組合のコンサルタントを務めた。2003年に再びストックホルムに移ってノルディック・メタル書記長に就任、IMF執行委員会と欧州金属労連（EMF）運営委員会の代理委員も務めた。



主要役員プロフィール  
インダストリアル・グロースユニオン

## 副会長

### 島田 尚信

Hisanobu Shimada

島田尚信氏は国際繊維被服皮革労組同盟 (ITGLWF) の会長であり、全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟 (UI ゼンセン同盟) の副会長である。



1977年に東洋紡に就職し、1989年に同社労組敦賀支部書記長に選ばれた。1993年に全国繊維産業労働組合同盟 (ゼンセン同盟) に加入、1996年に常任中央執行委員に選出され、繊維政策を担当した。組織統合後の2002年、UI ゼンセン同盟千葉県支部長に就任、2004年にUI ゼンセン同盟書記長に選出される。2009年12月にITGLWF会長、2005年9月にITGLWFアジア太平洋地域組織 (TWARO) 会長に選出された。

## 副会長

### R・トーマス・バッフェンバーガー

R. Thomas Buffenbarger

トーマス・バッフェンバーガー氏はIMF副会長で、北米の全米機械工・航空宇宙労組 (IAM) の国際会長も務めている。IAM組合員の息子だった



同氏は、1970年にオハイオのゼネラル・エレクトリック・ジェットエンジンで実習グループの職場委員として活動を開始した。1980年に5大湖地域IAM特別代表に任命され、3年後に同地域の統括副会長管理スタッフに就任。1986年にIAM本部に赴任してIAM組織化局で働き、2年後に国際会長補佐に任命された。1991年から1997年までIAM本部で統括副会長を務め、すべての本部活動を取り仕切った。同氏はIAM国際会長としてAFL-CIO執行委員を務めており、これまでIMF執行委員会に副会長として加わっていた。

## 副会長

### センゼニ・ゾクワナ

Senzeni Zokwana

センゼニ・ゾクワナ氏は、国際化学エネルギー鉱山一般労連 (ICEM) と南アフリカの強力な全国鉱山労組 (NUM) の会長である。1980年、



アパルトヘイト時代の南アフリカにおいて、自由州のプレジデント・ステーン金鉱で労働組合活動を開始した。当初は交代勤務の安全問題を監督し、1995年に安全管理者としてNUMに加入、近代的な鉱山保安技術を強力に提唱した。2000年に30万人の組合員を擁するNUMの会長に選出され、現在、鉱山保安問題に関して世界レベルで主導的役割を果たしているだけでなく、アフリカ全域で貧困撲滅を目指して積極的に運動している。2005年10月の特別選挙で初めてICEM会長に選出され、2011年11月に再選された。

## 書記次長

### モニカ・ケンペール

Monika Kemperle

モニカ・ケンペール氏はオーストリア労働総同盟 (OGB) の書記長で、2007年にオーストリア議会の連邦会議メンバーに選出された。社会



民主党で活動しており、オーストリアでいくつかの監視委員会に加わっている。同氏は事務員として働き始め、その後、接客や裁縫の仕事に就いた。間もなく労働組合運動に力を入れるようになり、1987年に金属・鉱山・エネルギー労組 (GMBE) で働き始める。上級教育を受けたのち、GMBEの法的保護担当書記長に就任、さらに女性問題政策も担当した。2003年から2007年まで、繊維・被服・皮革労組の書記長を務めた。同氏の政治的活動の焦点は社会問題、男女平等、教育・訓練で、国際レベルではディーセント・ワークと従業員の生活水準に取り組んでいる。

## 書記次長

### ケマル・ウズカン

Kemal Ozkan

ケマル・ウズカン氏は国際化学エネルギー鉱山一般労連 (ICEM) の産業・企業問題局長。同氏は経済学・経営学の修士号を取得したエンジニアとして、トルコ進歩的労働組合総連



合傘下の石油・化学・ゴム労組で16年間にわたって活動し、あらゆるレベルの職務を歴任、最終的なポストは会長補佐だった。2007年初め、ブリュッセルのICEMに化学・ゴム産業担当役員として加わった。2011年6月、特定の産業関連職務に加えて、ICEMの産業・企業問題局長に任命される。世界レベルおよび欧州レベルの労働組合連合団体で国際労働組合連帯行動に従事し、それぞれ1995年、1996年に開催されたICEMとEMCEFの結成大会にも参加した。同氏は労働組合員の家庭に生まれ、父親は1980年にトルコで軍事クーデターが発生した際、組合活動が原因で4年間投獄された。

## 書記次長

### フェルナンド・ロペス

Fernando Lopes

フェルナンド・ロペス氏は2009年5月の第32回IMF世界大会で書記次長に選出された。1960年5月14日生まれの同氏は、ブラジルで長



きにわたって労働運動にかかわり、1970年代にマラニャン州北部で機械工学を学んでいたときに初めて労働者党 (PT) に加わった。マラニャンで13年間にわたって政治活動に従事したのち、1987年に政治上の迫害が原因でバイアに移ることを余儀なくされた。ここで同氏は、バイア製鋼所の整備士として働き始め、地方組合でバイアの金属労組の執行委員になり、その後ナショナルセンター CUT の全国金属総連合 (CNM) の執行委員に就任した。2001年にCNM/CUT書記長に選出され、2003年から2005年までIMF執行委員を務め、2007年からIMF書記局に加わった。